

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ビーナスキッズもりぐち		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 10日 ～ 2025年 4月 5日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 10日 ～ 2025年 4月 5日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別から集団生活を目指して療育を行っている。	個別のコース、半集団のコース、集団のコースと3つのコースで療育展開をしている。	大集団に向けて、さらにコース展開を行う。
2	科学的根拠に基づいた感覚統合運動の実施。	スタッフは、作業療法士等による研修を日々行い運動療育に活かしている。	運動内容の充実化
3	就学支援に向け、学校の時間割のようにチャイムで切り替えのできるプログラム。	時間割を貼り出し、子どもたちに見通しを立てている。 また、休み時間中は次の時間の準備時間（しっとりと遊ぶ）を教えている。	個別の運動コースでは、チャイムの実施がないため活動の切り替えの為の見通しをたてる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	体調不良による欠席が多い。	未就学児が多いことと、線路下ということもあり環境的な要因があると考えられる。	職員や子どもたちも手指消毒を行い、身の回りの消毒も引き続き行う。
2	子どもたちが預かり型のデイに行きたがる傾向にある。	外出イベントなどが少なく、学校のような療育ばかりで子どもたちが疲れている。	イベントを定期的に開催するようにする。
3			